

令和3年度青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会 書面開催結果

1. 開催期間 令和3年9月6日(月)～令和3年9月29日(水)

2. 参加委員 53名

3. 提出資料

資料 1	会議の状況
資料 2	環境放射線モニタリングの概要
冊 子	原子力施設環境放射線調査報告書（令和2年度第4四半期報）
冊 子	原子力施設環境放射線調査報告書（令和2年度報）
冊 子	東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書（令和2年度第4四半期報）
冊 子	東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書（令和2年度報）
参考資料 1	原子燃料サイクル事業の現在の状況について
参考資料 2	東通原子力発電所の現在の状況について
参考資料 3	リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について
広 報 誌	モニタリングつうしんあおもり No. 121

4. 概 要

(1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果について(令和2年度)

以下のとおり確認された。

(ア) 原子燃料サイクル施設

- ・令和2年度の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。
- ・令和2年度の測定結果に基づき実施する「施設起因の線量の推定・評価」については、施設寄与が認められなかったため省略した。
- ・令和2年度の原子燃料サイクル施設における放射性気体廃棄物、放射性液体廃棄物及びフッ素化合物の放出状況は、いずれも管理目標値を下回っていた。再処理工場から放出された放射性物質に起因する実効線量として、令和2年度1年間の放出実績をもとに推定・評価した結果は0.001ミリシーベルト未満であり、法令に定める周辺監視区域外の線量限度（年間1ミリシーベルト）を十分に下回っていた。
- ・令和2年度の測定結果については、「平常の変動幅」の設定に用いる。ただし、大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定のうち、青森局については、令和2年9月14日～21日の測定値を参考値としたため、当該測定値は平常の変動幅の設定に用いない。

(4) 東通原子力発電所

- ・令和2年度の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。
- ・令和2年度の測定結果に基づき実施する「施設起因の線量の推定・評価」については、施設寄与が認められなかったため省略した。
- ・令和2年度の東通原子力発電所における放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の放出状況は、いずれも管理目標値を下回っていた。東通原子力発電所から放出された放射性物質に起因する実効線量として、令和2年度1年間の放出実績をもとに推定・評価した結果は0.001ミリシーベルト未満であり、法令に定める周辺監視区域外の線量限度(年間1ミリシーベルト)を十分に下回っていた。
- ・令和2年度の測定結果については、「平常の変動幅」の設定に用いる。

(5) リサイクル燃料備蓄センター

- ・令和2年度の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。
- ・令和2年度の測定結果については、「平常の変動幅」の設定に用いる。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果(令和2年度)

- ・水温・塩分、水質及び生物等の各調査結果は、概ねこれまでの調査結果と同様の範囲であった。

(2) 監視委員会意見及び回答

なし。